

ニュージーランドといえばラグビーの  
オールブラックス。マラソンが行われ  
ている道の隣の土手でも、子どもた  
ちがラグビーボールで遊んでいた

# ニュージーランドの 表情豊かな大地を、 走って楽しもう!

オークランド  
AUCKLAND

ネイピア  
NAPIER

ニュージーランドの国  
際空港オークランドから  
飛行機を乗り継いで1時  
間、ネイピア空港へ。マ  
ラソンのスタート地点  
のあるネイピアの町に  
着く

ホークス・ベイ  
HAWKE'S BAY

ニュージーランド北島の東海岸、ホークス・ベイでフルマラソンが開催された。  
ブドウ畑を抜けて、フィニッシュはワイナリー。  
緑の大地と黄金色に輝く木々がまぶしい大地は、走って楽しむのが一番だ。

取材・文／吉本 亮 取材協力／ニュージーランド航空、ホークス・ベイ観光局、アコーホテルズ  
レース写真提供／© Hawke's Bay Marathon

コースの前半は羊の放牧や養鶏  
場が目につくが、後半10kmはず  
っとブドウ畑の間を縫って走る。ワ  
インの香りに包まれるから、早く  
ゴールしたくなる

川沿いのコースなので起伏は40m  
しかない。ワンウエーコースで今年は  
ずっと向かい風だったが、運が良けれ  
ば追い風参考タイムが出せるかも



ニュージーランド航空  
ホークス・ベイ国際マラソン

# Hawke's Bay International Marathon

ホークス・ベイ国際マラソン

開催日時▶2017年5月13日(土)

制限時間▶7時間(フルマラソン)

次回開催▶2018年5月12日(土)

公式サイト

<http://hawkesbaymarathon.co.nz/>  
でエントリー受け付け中



南半球なので日本の正反対の気  
候に当たり、季節は秋。序盤は  
風雨があって寒くも感じたが、マ  
ラソンシーズン真っただなかの気  
温で走りやすい



給水所では「コーラ!」と聞こえるが、実は「Kia Ora(ようこそ)」で、水を渡される



Whine now, wine later. (「whine=泣き言」とワインの韻を踏んだジョーク)など、ニュージーランド航空のしゃれた応援メッセージが数10種類あった



ゴールすると完走メダルを掛けてもらえ、さらに進むとマラソン大会のオリジナルワインも渡される



いくつかのワイナリーを通り、最後は大会サプライヤーであるシレニのワイナリーにゴールする



10kmやハーフを走った人たちが先にゴールして、ワインを楽しんでいた



ゴール会場にはいくつかのワイナリーが出店している。グラスで頼んで気に入ったら、ボトルで買っちゃおう



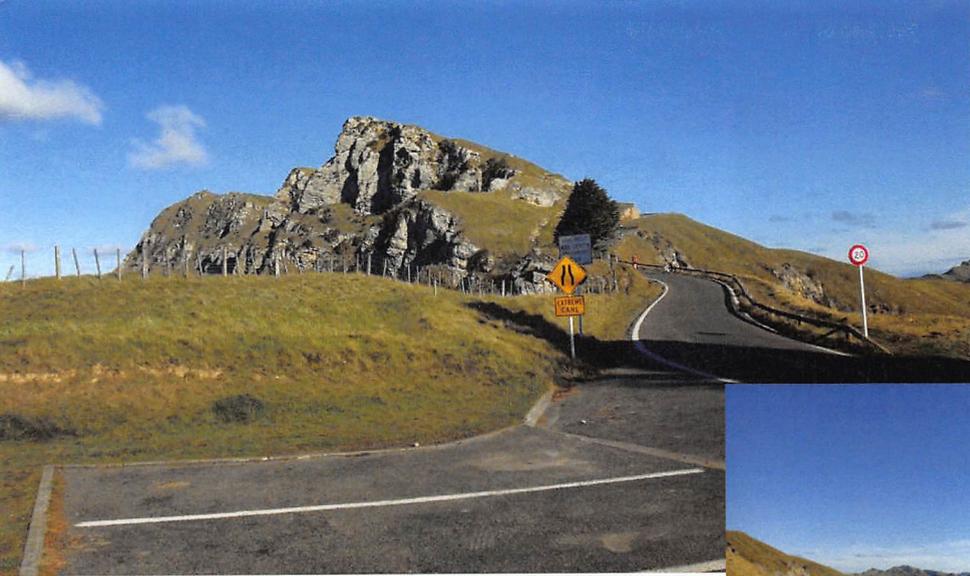
産直の食材を使ったフードの出店もあるので、マラソンそっちのけでピクニックを楽しんでいる人たちも

## ブドウ畑を走り抜けて、ワインを楽しみ、アウトドアを満喫!

開催地であるネイピアはオークランドから飛行機で1時間。オークランドはニュージーランド最大の都市だから、立ち寄ってランやシヨッピングも楽しみたい。ニュージーランド発のアイテムや日本未発売ワインなど、国内にないものをお土産にするに喜ばれる。出発までの時間は空港の近辺を観光ラン。次頁で空いた時間でどこまで走れるか検証したので、最後の時間まで目いっぱい楽しもう。

ワイン+マラソンというフランスのメドックマラソンを思い浮かべるが、実はホークス・ベイ国際マラソンが注目株だ。フランスと違ってニュージーランドは英語圏で、時差が小さく、日本と同じ左側通行で、フライト時間も約10時間半と、フランスよりも近い。参加者もフルで654人と少ないため、のどかな雰囲気だ。

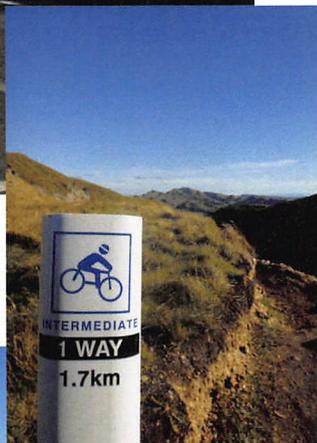
コースはワンウエーで、坂は気づかないぐらいの高低差のみ。コースにある距離表示は正確で、気の利いた応援メッセージが目についた。マラソンの楽しみの一つだが、ニュージーランド航空が設置しているメッセージだけあって、終始一貫してエアトラベル系のしゃれたサインが目につく。It's time to take off(やあ飛び立つ時だ!)や、最後の1マイルになる! You are approaching the Air New Zealand Final Mile (さよならニュージーランド航空の旅の最後の1マイルです)などと書いたサインボードが各所に置いてあって目が離せない。



## Te Mata Peak

ランも自転車も満喫できるフィールド

Te Mata Peakは中心に小高い丘があり、ハイカー、ランナー、バイカーそれぞれが楽しめるアウトドア特区的なノリがある。自転車専用のダートのダウンヒルコースも用意してあるから、マウンテンバイクも歩行者を気にせず安心して下れる。



# ネイピア NAPIER

ホークス・ベイ国際マラソンが開かれる都市ネイピアは、1931年の大地震後に建てられたアールデコ調の明るい建物が特徴。街ナカの洒落たレストランに地元のワインが並び、郊外にはアウトドアスポーツのできるフィールドが豊富な都市だ。



1930年代の建物がそのまま残る、アールデコ調のデザインが特徴の上品な街並み

## ファーマーズ・マーケット

売り手との会話も楽しんでお買い物

土曜日と日曜日には朝市が開催されている。どれも産直なのは当然として、ニュージーランドらしくワインやフルーツ、はちみつなどが豊富にそろっている。現金のみのお会計だけれども、マーケットの入り口にATMも置いてあるから安心して大人買い!



## ワイナリー

お土産はここでしか買えないワインを!

Te Mata Peakからすぐのところに、日本でも有名なクラギー・レンジのワイナリーがある。工場見学や試飲ができ、気に入ったらその場で買えます。ピンが割れそうで怖いけれど、プチプチのカバーも別売りで用意されているから、安心して持ち帰ろう。

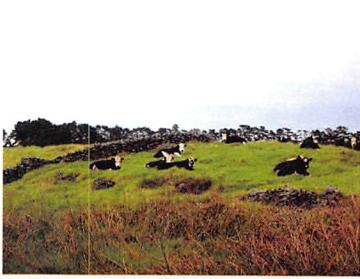


## 注射器ドーナツ

注射器が付いてくるスイーツ!?

ネイピア中心地にあるレストラン、MisterDに行くならデザートはドーナツで決まり! 注射器が付いてきて、クリームを自分で注入する。もちろん落書きをするのもOK。ドーナツに注射! のビジュアルはミスマッチで新鮮だから、SNSで「うけるね!」間違いなし。





巨岩が草むらに点在するストーンフィールド。近寄るとすべての牛ににらまれる



空港から700mの所にあるアウトドアギャラリー。写真に映えるオブジェがたくさんある

# オークランド AUCKLAND

日本からだニュージーランド最大の都市、オークランドで乗り換えてネイピアへ飛ぶ。でもオークランドを乗り換えだけで通過するのはもったいない。最大級のお買い物も、ここにしかない風景も同時に楽しんじゃおう！

## RUN

### 帰国直前まで楽しめる スポットがたっぷり

帰国の便まで時間がちょっとある。どうしよう？ 1. 走る、2. 写真の整理、3. ブログを書く。もちろん本誌の読者なら1でしょ。空港から近くて走って行ける所にも見どころがいっぱいあり、近いところではアウトドアギャラリーに10分で到着する。時間いっぱいを使って、最後までニュージーランドを楽しもう。

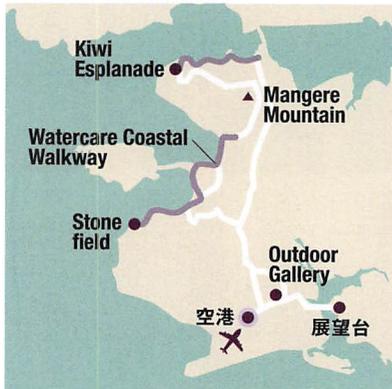


ウオーターフロントウォーク  
まで9km弱。ベンチから対岸を見ながら一息つこう



オークランド空港を飛び立つ飛行機を間近から眺められる展望所へは片道20分。静かなトレイルが足にも優しい

空港から2~3時間でアクセス可能。  
今回走ってきた道



南端にある空港を拠点に、半径9kmの範囲でさまざまな景色や道をカバーできるので、残り時間と相談して走ってみよう。大きい通りなら車道から離れた所に歩道が必ず用意してあるし、通行の方向が日本と同じなので安心して走れる。

最終日の滞在はここで /

### ノボテル オークランド エアポート Novotel Auckland Airport



日本へ帰国するフライトが早朝ならば、空港至近のホテルがおすすだ。世界最大級のホテルチェーンによるノボテルホテルは国際線ターミナルには70歩で到着する。それでいて、部屋に入ると空港を飛び立つ飛行機の音は一切聞こえない。空港至近というのを忘れてしまう静寂が広がる。

Novotel Auckland Airport  
Ray Emery Drive NZ +64 9-2577200  
アコーホテルズ公式サイト [www.AccorHotels.com](http://www.AccorHotels.com)



# Shopping

## ここでしか手に入らない アウトドアギア

ホノルルマラソンだとアラモアナショッピングセンターがあるが、ホークス・ベイ国際マラソンにはシルビアパークがある。オークランドで最大級のショッピングセンターで、約200店舗があるほか、映画館、フードコートもある。スポーツショップもあり、日本では展開がないブランドや別注品もあるので、珍しいものを探せる。



スポーツシューズで有名なアスリートフットとフットロッカーでは、ショップが別注した配色のシューズもあるので、好みがあれば即買い対象だ。カトマンズは靴下からテントまでそろえる総合ブランド。分かる人を見ると、「おーニュージーランドに行ってきたのね」と一目置かれること間違いなしだ

キウイエスプレーナードは住宅地に面しているため、走る人や犬の散歩をする人が多い



空港近くのブケウトウ島ものんびりするのいい所。島へ続く浅瀬では水鳥たちが繁殖している

現在地を示す地図がいくつも置いてあるので、ナビがなくても安心して走れる



マンゲレ山は高さ106メートルの小規模なカルデラ山。公園として親しまれている

# How to fly to NZ

## 快適で便利な ニュージーランド航空で



最新の787-9型機には横1列3座席が平らなソファになるエコノミー「スカイカウチ」がある



夕食(写真)も昼食も充実。サラダや果物もたっぷりあって、デザートも美味



ワインは、ソーヴィニヨン・ブラン、シャルドネ、ピノ・ノワールなどニュージーランド産が多数揃う

機内へ足を踏み入れると、ニュージーランドを象徴するシダの葉柄の制服の客室乗務員が出迎えてくれて、気分は一気に現地モードに。食事もワインもおいしくて、機内は快適。約10時間半の旅も楽しくなる。驚いたのはトイレ。ドアを開けたら本棚!? 実は壁紙で、並ぶ本もよく見ると空やニュージーランドの本ばかり。清潔に! という常識を超えた配慮に、創造性あふれる居住性の高さとおたたかなサービス精神が垣間見えてくる。

日本・ニュージーランド間を直行便(約10時間半)で結ぶ唯一の航空会社として、成田ーオークランド間を週7便運航。7月21日には羽田ーオークランド間に週3便が就航する。  
[www.airnewzealand.jp](http://www.airnewzealand.jp)



タッチスクリーンで希望のドリンクやスナックなどを、手軽に注文できる